



32歳
小金井
育ち

坂井えつ子の つながる小金井通信



事務所：小金井市本町 2-19-36（市民自治こがねい）
TEL/FAX：042-316-1619 メール：tunagarukoganei@yahoo.co.jp
HP・ブログ・Twitter・Facebook ⇒ **坂井えつ子** 検索
発行：坂井えつ子とつながる小金井の会 2013年1月8日 第**3**号

被ばくを防ぐ！ 3つの放射能対策を



東京電力・福島第一原子力発電所の事故以降、私たちは今まで以上に、空気や食べ物にも気をつけなければならない社会を生きています。内部被ばくのルートは、「空気」「食べ物」「傷口など皮膚」からの3つです。数年後に健康被害が出てからでは遅いのです。特に放射線の影響を受けやすい子どもたちの被ばくをしっかりと防ぐことが大切です。

1 放射能測定MAP・放射能ハンドブック作成を

震災後、緑小やぬくい南幼稚園・まえはら学童では厚生省の基準を超える値が計測され、除染が行われました。

公園などを含めた詳細調査の継続と必要に応じた除染を

町田市では、昨年「放射能早分かりハンドブック」を作成し、放射能や内部被ばくを減らす調理法、市内測定MAPも掲載しています。

小金井でも、市内の現状を分かりやすく知らせるハンドブック作成とHPでの公開を

2 給食の内部被ばくゼロをめざして！！

昨年2月、小中学校・保育園給食食材の放射性物質測定で、保育園で提供された生しいたけから70ベクレルが検出されました。

子ども達が日々口にする給食の安全はしっかり守るべき。「内部被ばくをゼロに近づける」と議会で答弁されています。食材を安全な産直農家から仕入れたり、食前の検査を行う体制づくりを

3 市内に2つある放射能測定器の有効活用を

チェルノブイリ事故以降、22年間食品の放射能を測り続けてきたボランティアによる市民測定室

市民協働の測定室が今後も続けていけるよう、新しい測定器の購入を

消費者庁から貸与された測定器で市が給食食材を週4日測定。

測定を増やす、市民測定室との連携など、もっと有効活用を

街かど新年会

こんな小金井にしたい！
リレートーク
.....

こんな小金井にしたい！
2013年をこんな年に！
市民によるリレートークを行います。あなたの想いもマイクにのせてみませんか。
ミニライブもあります。
ぜひ！お立ち寄りください。

日時 * **1月26日(土)**
14:00~15:30
(雨天中止)
場所 * JR 武蔵小金井駅南口

*** 主催 ***
坂井えつ子とつながる小金井の会

つながるお茶会

「小金井市をもっとよくしたい」
「小金井市のここが不便」etc.
お茶を飲みながら話しましょう！
途中参加・退席もOK。
お気軽にお立ち寄りください。

日時： **1月17日(木)**
14:00~16:00
場所：坂井えつ子とつながる小金井の会事務所（市民自治こがねい）武蔵小金井駅北口5分
お茶菓子代：100円

「坂井えつ子とつながる小金井の会」の政策3本柱
小金井でつながる 未来につなげる
～7世代先のことを考えたまちづくり～

1. 人と人がつながる支え合いのまちづくり 福祉

- 「障がい者」も地域で暮らし働けるまち
 - ・就労支援～市役所での雇用を拡大
 - ・グループホームの増設
- 孤立しない介護・介護者支援
 - ・各地域包括支援センターで家族介護者の交流会を
 - ・家族介護者への訪問事業
 - ・往診、訪問看護の充実を
 - ・「高齢者福祉のしおり」など刊行物の周知を
- 誰もが自分らしく暮らせるまち
 - ・ジェンダーフリーな社会
 - ～性的マイノリティも生きやすいまち
 - ・小金井市外国人市民会議の開催
- 地域で見守る子育て、教育
 - ・子育て支援のネットワーク
 - ・郷土学習、環境教育の促進
- 市内にある場や情報の共有
 - ・空き店舗を有効活用
 - ～市民が憩える居場所づくり・若者カフェの開催など
 - ・市内のイベントや市からのお知らせをメール配信



2. 自然とつながった共生のまちづくり 環境・平和

- 脱原発と被ばく防護を自治体で
 - ・脱原発小金井宣言・市内放射能汚染MAPを作成
 - ・放射能ハンドブックの作成と配布
- ゴミ・ゼロ・ウェイスト宣言でゴミゼロ都市に
- 玉川上水・国分寺崖線(はげ)・野川の自然保護
- 環境にやさしいエコ庁舎に
- 車中心社会から、歩行者・自転車に快適なまちに
- 9条を選びとる。東アジア地域の平和を日本から発信
 - ・平和事業の充実
 - ・平和条例の制定を

3. 市政・議会を身近につなげる 民主主義

- 議会基本条例の制定でより開かれた議会に
- 4年に1度は市議会アンケート
- 市民交流センターに投票所設置で投票率UP!
 - ・期日前投票も市民交流センターで!!

社会的入院を減らしたい

…坂井のつぶやき…

思春期に統合失調症を発病し、以降40年間精神病院で暮らし続けてきたある女性。今はグループホームで暮らしています。国策で精神病院に押し込まれ、40年という時間を奪われる。友達と遊んだり、ご飯を食べに行ったり、私が当たり前前に思っていたそんな日常を送ることが出来ませんでした。「病院から出られて良かった」と話す彼女を見て、社会的入院を減らしたい!と、グループホームの必要性を強く感じています。

坂井えつ子のプロフィール

1980年大阪市生まれ
10歳の時、小金井市に転入
現在は桜町在住
小金井市立緑小学校
緑中学校卒業
都立小金井北高等学校卒業
日本大学法学部法律学科卒業
日本福祉教育専門学校言語聴覚療法学科入学



20代後半で、在宅で親を介護する大変さを経験。
介護する側へのケアの必要性を痛感する

また、「憲法9条を守り東アジアから平和な社会をつくろう」と韓国一周100日Walkに参加。

現在、NPO法人ぴあたちばな勤務。精神障がい者と呼ばれる方達が暮らすグループホームで働く

小金井市図書館協議会委員(2011.11~2012.10)
市民自治こがねい運営委員
みどり三多摩運営委員
緑の党結成に参加・Youthチームとしても活動中

応援します!

不満があれば人に不満をぶつける前に自分から動く、坂井さんとは、私自身、自分から動いた時に会いました。坂井さんは、介護、障害者福祉、社会的マイノリティ等で生きづらさを感じている人々が直面している問題に真摯に向き合い、地域のつながりから変えて行く。特定の人声だけではなく、世代を超えた多くの人の声を聞き、その人が何に困っているのか、その人の立場になって考え、一つ一つ解決の糸口を探しながら行動に移す人。そんな坂井えつ子さんを、私は応援します。(前原町/伊藤慎弉)

推薦します!

ていねいに人と人をつないでいく坂井さんは、小金井市の「市民参加」をしっかりと考えていてくれると期待しています。(漢人あきこ/緑町/小金井市議会議員)



会員募集中! 坂井えつ子とつながる小金井の会

年会費: 一口2,000円 カンパ大歓迎
郵便振替口座: 00130-3-652172
坂井えつ子とつながる小金井の会

